日本人学校等で働きたい人を募集しています!

日本人学校の子供の学びに向き合った経験は、 先生の資質・能力の向上にも繋がることがわかりました!

出典:「在外教育施設に派遣された教師に係る 派遣効果に関する調査・分析」

※ 文部科学省と総務省が共同で実施。委託先は 三菱UFJリサーチ&コンサルティング



あまりあてはまらない

多文化・多言語環境における指導能力

海外で母語でない環境で学び、マイノリティとして「壁」にぶつかった経 験、日本以外で生まれ育った子供など多様なバックグラウンドを持つ子 供たちに触れた経験は、多文化・多言語環境における指導能力の伸び に繋がります。

児童生徒の文化的な多様性に適応させた指導をする能力がある



についての自己認識を10段階[1(あてはまらない)~10 派遣経験がある教師について、派遣経験のない同 (あてはまる)]で、現在(2021年度)と10年前(2011年度) 年代の教師と比較してどの程度あてはまるか尋ね 10年前と現在の回答の差分は1%水準で統計的に有意で

学校の管理・運営能力





変わらない

となり課題を解決したことは、 教師としての視座を高める貴重な 経験となりました!

境の整備に向き合いました。 ・デモの過激化、新型コロナなどの困難に直面しても、職員間で合意形成を

現地ならではの経験や、若い年齢から学校の中心となって働く経験は、 学校の管理・運営能力の伸びに繋がります。将来の管理職としての業務

学校組織における中心的な役割を担うとともに、教育の指導力・対応力の向上 に対して適切に指導・助言を行うことができる



2 カリキュラム・マネジメント能力

日本のカリキュラムと現地ならではの特性をアレンジした授業づくりの 経験や、全国各地の派遣教師や多様なバックグラウンドを持つ子供た ちとの交流は、カリキュラム・マネジメント能力の伸びに繋がります。

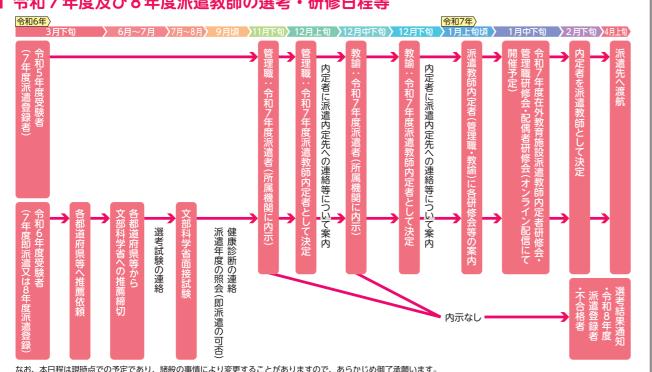
児童生徒や地域の実態を踏まえつつ、育成すべき資質・能力を念頭に置いた 指導計画を作成し、効果的な指導を行うことができる



・赴任当時の学校課題の一つは、ICT化の遅れ。香港のICT先進校の視察や、 国内の教育委員会等とも連携して情報収集を行うなど、子供たちの学習環

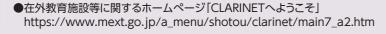
図り、子供たちの学びの継続と安全・安心な学校づくりにチームで取り組

■ 令和7年度及び8年度派遣教師の選考・研修日程等



お問い合わせ先

●文部科学省総合教育政策局国際教育課 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 **TeLO3-5253-4111** (内線3562)









体育祭でのソーラン節



SDG'sをテーマとした英語での 学習発表会





ジョホール日本人学校 「日本文化の日」における現地児童生徒

海外で学ぶ日本の子供たち

「在外教育施設」での学び×グローバル人材&グローバル教師



国際車いすラグビーカップ2023



グラフや表を使った意見発表



外国につながる児童への日本語<u>指導</u>



全校宿泊学習での調理体験